



むらやま さと はぐく

ほくとし

村山の郷・育む会（山梨県北杜市）

- 本地域は、ハケ岳、南アルプス山脈、奥秩父山塊といった山々に囲まれ、南には富士山も望める市のほぼ中央にある高根町に位置する水田地帯。世界かんがい施設遺産に選定された「村山六ヶ村堰疎水」を活用した様々な活動を本交付金により充実。
- 小学校等と連携して、村山六ヶ村堰疎水の歴史や役割について学ぶ親子3世代のイベントを開催したり、疎水によって育まれる食材の魅力発信などもイベントに取り入れ、地域内の様々な組織と連携し、集落間や親子3代の交流を図り、地域を活性化。

【地区概要】

- ・取組面積 342ha
(田238ha、畑104ha)
- ・資源量 水路12.3km、農道3.0km
- ・主な構成員 農業者、婦人会、子供会等
- ・交付金 約24百万円(R1)
農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- 平成28年度に村山六ヶ村堰疎水が世界かんがい施設遺産に登録された。
- 本地域は、旧六ヶ村の17集落により構成されているが、共同活動に参加する若い世代の減少等により、集落単位のコミュニティ機能が低下。
- 村山六ヶ村堰疎水やその周辺に生育している希少植物などの観光資源があるものの、それらの資源を保全し、郷を守り育て次世代につなぐという気運が低いことが課題であった。



世界かんがい施設遺産に選定された村山六ヶ村堰疎水

取組内容

- 本交付金を活用し、集落間で連携し、小学校の総合学習や親子3代で疎水の歴史や役割について学ぶウォーキングイベントを開催。
- 伝統食(ほうとう)の調理体験や女性グループによる地域の特産物であるトマトを活用したスイーツ試食会、希少植物の観察会等の地域の魅力を学ぶためのイベントを実施。
- 活動組織で設計・積算を行い、地域の在石を利用して景観に配慮した補修を実施。



ウォーキングの様子



景観に配慮した水路の補修

取組の効果

- 地域内の子どもを対象に疎水の歴史や役割を学ぶ環境学習に取り組むことで、親世代にも、疎水保全に係る理解を醸成。
- 村山六ヶ村堰疎水や地元食材など地域の魅力を発信。知名度を上げることで、多くの観光客が来訪し地域を活性化。
- 本交付金の活動を通じて、疎水の歴史や文化、地域資源を次世代へ残していこうという気運が高まっている。



絶滅危惧種の
キキョウ



地域の伝統行事(虫送り)